

しみんかいぎだより

令和8年9月 No.24

はじめに、令和8年7月28日に発生した熊本地震により被災した方々に、心よりお見舞い申し上げます。10年前から2度の大地震です。一日も早いご再建とご無事を、心よりお祈り申し上げます。

今年の岩見沢は、真夏日が数日間ありましたが、7月下旬は爽やかな風が吹き、過ごしやすくなりました。本州では35度を超える日が続いています。人間の身体は40度を超えると体内のタンパク質が影響を受けて重要臓器が正常に機能できなくなり、45度以上になると細胞レベルで深刻なダメージを受け、極めて危険な状況に陥ると言います。身体を冷やす、水分・塩分を摂る、暑い時はエアコンを使用するなど、暑さ対策をしっかり行い、熱中症にならないよう心掛けたいですね。

さて、今年のフォーラムでは、日本医療大学の林美枝子先生に、家族のあり方も個人化・多様化していること、死に備え支え合うことを絆とする「地域共生社会」についてお話いただきました。これからの超高齢化社会に向けて、今回学んだことを参考に、自分事として取り組んでいければと思っています。

いわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議 代表 東海林 公子

男女共同参画市民フォーラムを開催しました

テーマ：共生社会の土台づくりはジェンダー平等から

日 時：令和8年6月27日（土）午後1時30分

会 場：岩見沢市自治体ネットワークセンター マルチメディアホール

講 演：共生社会のデザインと21世紀型家族の現在

講 師：林 美枝子さん（日本医療大学ヒューマンデザイン学部共生社会デザイン学科 教授）



今年は、日本医療大学教授の林美枝子さんを講師にお招きしました。社会医学、医療人類学を専門とされており、現在の研究内容は「看取りのドゥーラ」の日本への導入に挑み、看取り力のある共死社会（きょうししゃかい）創りに取り組まれています。現在、北海道が命名150周年を記念して取り組んでいる『北海道現代史』の医療・介護とジェンダーに関するページの執筆を担当されています。

フォーラムでは、前半は北海道開拓の歴史に見る、家事・育児・労働を担う過酷な環境下での、等身大の生産労働者としての能力を持つ女性の力「姉の力」についてお話いただきました。後半は、超高齢化社会を迎え、家族の在り方も個人化・多様化する日本で、死に備え、支えあうことを絆とする「地域共死社会」を実現するために、生活保障の家族単位からの脱却とケア労働を家族の無償労働に頼らず公共サービスとして拡充すること、血縁を超えた新しいセーフティネットとして地域のつながりを創ることの重要性についてお話いただきました。

講演後、参加者から積極的にご質問される様子が見られました。現代社会の抱える課題と今後の展望について、フォーラムに集った全員で考えを深める、大変良い機会となりました。



フォーラム参加者の声

- ・地域共生社会の仕組みなど、今まで知らなかったことを学ぶ機会となりました。今後は出来ることから取り組んでみたいと思いました。
- ・北海道開拓の歴史に見る「姉の力」、とても印象的でした。資料も分かりやすく、歴史的な関係からも理解が深まりました。

第11回男女共同参画川柳コンテスト表彰式

市民フォーラムと同時開催で、第11回男女共同参画川柳コンテストの表彰式が行われました。入賞者には、賞状と副賞（図書カード）が贈られました。たくさんのご応募ありがとうございました！

（応募総数 21名60作品）



差別するつもりはないは逃げ言葉

范 英二郎さん

■講評

無意識に使った言葉や考え方は現代では通じないことが多くあります。無意識の中には人間に潜んでいた差別があるのかも知れません。後での訂正や理由付けは言い訳、逃げに聞こえるのです。日頃から人間の根本的な考え方の確立の必要性を述べています。



（五十音順）

ちらしメモ夫婦揃って肩並べ

大林 智美さん

■講評

毎日、沢山来るスーパーの広告を見比べて夫婦が値踏みをしています。買い物やスーパーを決めて今日の献立を考えている幸せな家庭の様子が肩並べによって絵になり浮かびます。

多様性広がる先に生きやすさ

小川 美都里さん

■講評

多様性が認められ尊敬もされる社会になりました。そんな中で、安心して自分を表現して生きることが出来る未来は素晴らしいです。多様性は句の意味に広がりをもたせる言葉でもありますね。

保護者名記載パパだけなんでかな

杉山 武志さん

■講評

書類の保護者の記載欄にパパだけだったことへの疑問。日頃からパパ、ママ二人への感謝の心に幸せと感じているので、パパだけと不思議でした。

好きな色のランドセルを背に世へ一歩

細井 ちよこさん

■講評

ランドセルの色は赤、黒、茶、紫など華やかです。男女関係なく自分の好みです。これも自己表現、将来の活動の意志表示の第一歩でしょうか。川柳として助詞の整理ができますね。

台所似合う背中に時代見る

三輪 康司さん

■講評

台所で男の人が料理をしている姿も普通に見られる現代で前掛け姿もよく似合います。ほのぼのとした姿は男女の関係のない幸せな共同社会、家族像が浮かびます。

※講評は、岩見沢文化連盟 岡 嘉彦 会長です。



左から、岩見沢文化連盟岡会長、東海林代表、三輪さん、細井さん、杉山さん、大林さん、范さん、吉成市民環境部長

毎年4月に作品を募集しています。
広報いわみざわや市オフィシャル
ウェブサイトをご覧ください。
たくさんのご応募お待ちしております！



男女共同参画週間啓発展示を行いました

毎年6月23日から29日は男女共同参画週間です。啓発活動の一環として、市役所や市内商業施設で啓発展示を行い、啓発グッズも配布しました。また、岩見沢市立図書館と連携して6月2日から28日まで、男女共同参画に関する書籍を展示しました。



〈イオン岩見沢店〉



〈であえーる岩見沢〉



〈市立図書館〉

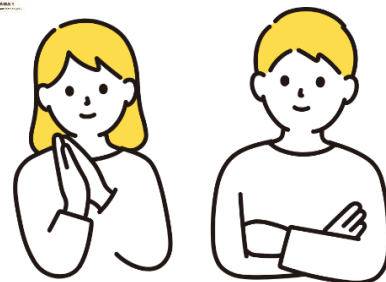


〈内閣府ポスター〉

令和8年度の
キャッチフレーズは…

「あなたらしさが、
社会のチカラ」

図書館ではLGBTやジェンダーに関する様々な書籍の展示を行いました。子ども向けのわかりやすい書籍もあります。貸出は引き続き行っているのので、ぜひ足を運んでみてください。



書籍紹介

本をつうじて
学びを深めて
みませんか？



市民フォーラム講師
林美枝子さん関連書籍

見取りのドーラ
最期の命を生きるための寄り添い人

ヘンリー・フェルスコ=ワイズ 著
林 美枝子 監訳
山岡 希美 訳
明石書店 2022年

イベント情報

第18期男女共同参画ステップアップ講座を開催します

◆会場 生涯学習センターいわなび

誰もが性別にかかわらず互いにその人権を尊重し、社会のあらゆる分野に参画し、それぞれの個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会を実現するための様々な課題について、市民のみなさんと一緒に考える「ステップアップ講座」を開催します。今年度も、全2回の講座の実施を予定しています。詳細が決まりましたら、市ホームページや広報、チラシでお知らせします。

第1回 性の健康教育
「からだの科学」大人のための講座
講師：佐藤千鶴さん、齋藤寛子さん
(NPOピーチハウス)
日時：令和8年9月29日(火)18:30-20:00

第2回 女性が抱える困難と当事者支援の現場
講師：山崎菊乃さん
(NPO法人女のスペース・おん代表理事)
日時：令和8年10月13日(火)18:30-20:00



詳細はこちら
←市公式HP

会員募集中！

いわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議

いわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議では、誰もが自分らしく生きられる男女共同参画社会の実現を目指して活動しています。年間を通じて、様々なイベントの開催や情報誌を発行し、会員の皆様にお届けします。年会費は無料です。入会については、事務局までお気軽にお問い合わせください。



川柳コンテスト
毎年4月に作品を募集しています



市民フォーラム
みんなで知識を深めましょう



ステップアップ講座
講師の先生と楽しく学びます



パープルリボンプロジェクト
毎年11月に実施しています！



展示啓発
ポスター展示やグッズを配布！



情報誌発行
男女共同参画に関する
情報をお届けします！

■あとかぎ

6月に開催したフォーラムは、多くの方にご参加いただき、好評のうちに終えることができました。

地域共生社会、看取り力のあるコミュニティの創造は、これから必ず必要なるものではないかと思いました。

今年度は、実行委員のメンバーにも変化がありました。今後も新たな気持ちで取り組みを行ってまいります。男女共同参画社会の実現に向けて、多様な皆様のご意見と、ご助力をいただくと幸いです。

■事務局

☆岩見沢市役所

市民環境部 市民連携室 男女共同参画担当

〒068-8686 岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号

TEL：0126-35-4271（直通）

FAX：0126-23-9977

E-mail：danjo@city.iwamizawa.lg.jp

お問合せはこちらまで！

